

アベ NO THANK YOU ! 映画上映会

今回のアベ NO THANK YOU !の会は、2本の映画を上映します。
 制作者・監督の講演もごさいます！ たくさんの方のご参加を
 お待ちしています。



2015年5月2日(土)

開場:10:00 日比谷図書文化館B1
 コンベンションホール
 (日比谷公園内 丸の内線「霞ヶ関」下車)

第1部 10:30~

「チョムスキー9.11」

上映時間71分

監督:ジャン・ユンカーマン
 音楽:忌野清志郎

11:50~12:30

制作者 山上徹二郎氏 講演



Chomsky 9.11

誰だってテロをやめさせたいと思っている。
 簡単なことです。参加するのをやめればいい。

第2部 13:30~

「カンタ！ティモール」

上映時間110分



監督: 広田奈津子
 助監督/音楽監督: 小向サダム
 監修: 中川 敬 ソウルフラワー・ユニオン
 脚本: 南風島 渉
 ステール: 小嶋文人 / 高井保彦
 ドキュメンタリーカラー(DV)110分/4.3/2012年
 2012年東京映画祭・日比谷・アクトン座
 字幕: 日・英・仏・ポルトガル語 / 自主制作・初監督作品
 公式サイト www.canta-timor.com

舞台は東南に浮かぶ島々の島、ティモール。ひとつの歌から始まった運命の旅が、音楽あふれるドキュメンタリー映画となった。この島を襲った悲劇と、それを生き抜いた奇跡の人們と、その姿が、世界に希望の光を投げかける。当時23歳だった日本人女性監督は、人びととの暮らしの中で現地語を学び、彼らの歌に隠された本当の意味に触れてゆく。そして出会う、光をたたくまなざし、詩のようにつむがれる言葉の歌々。それは観る者の胸をそっと貫き、決して消えない余韻となる。日本が深く関わりながら、ほとんど報道されなかった東ティモールの闘いをとりあげた、国内初の長編、自主映画ながらも感動は国境を越え、5カ国100カ所以上の試写会で会場が心を震わせた、愛すべきエチュード。

人類はひとつの兄弟なのさ
 父もひとり、母もひとり
 大地の子ども
 憎んじやだめさ、叩いちゃだめ
 戦争は過ちだ、大地が怒るよ。

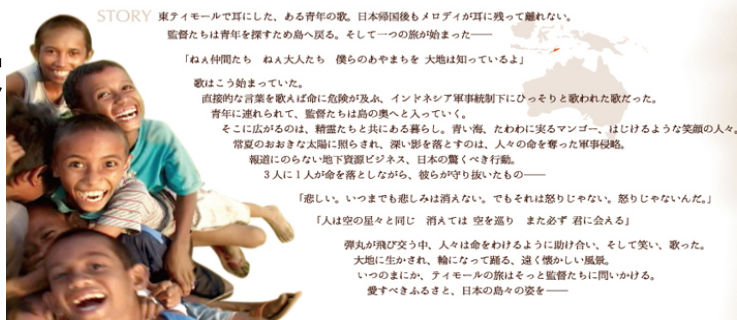
3.11以降の日本人の生き方のヒントが、この映画にはつまっている。

15:20~16:00

監督 広田奈津子氏 講演

☆16:30~銀座パレード
 があります。

16時30分に日比谷公園
 中幸門を出発、丸の内線
 治橋駐車場前で流れ解散
 になります。ゆっくり歩いて
 1時弱のコースです。
 日除け、雨対策をして、
 どうぞご参加ください。



STORY 東ティモールで耳にした、ある青年の歌。日本帰国後もメロディが耳に残って離れない。監督たちは青年を探すため島へ戻る。そして一つの旅が始まった――

「ねえ仲間たち ねえ大人たち 僕らのあやまちを 大地は知っているよ」

歌はこう始まっていた。

直接的な言葉を歌えば命に危険が及ぶ、インドネシア軍事統制下にひっそりと歌われた歌だった。

青年に連れられて、監督たちは島の奥へと入っていく。

そこに広がるのは、精進たちと共に暮らす。背い海、たわわに実るマンゴー、はじけるような笑顔の人々。

常夏のおきな太陽に照らされ、深い影を落とすのは、人々の命を奪った軍事侵略。

報道にのらない地下資源ビジネス、日本の震くべき行商。

3人に1人が命を落とすしながら、彼らが守り抜いたもの――

「悲しい、いつまでも悲しみは消えない。でもそれは怒りじゃない、怒りじゃないんだ。」

「人は空の星々と同じ 消えては 空を走り また必ず 君に会える」

弾丸が飛び交う中、人々は命をかけるように助け合い、そして笑い、歌った。

大地に生かされ、輪になって踊る、遠く懐かしい風流。

いつのまにか、ティモールの旅はそっと監督たちに向かいかける。

愛すべきふるさと、日本の島々の姿を――

要予約

・・・お申し込み・お問い合わせは裏面をご覧ください！・・・

5月2日(土) 映画上映会と講演

参加ご希望の方は、メールまたはFAXにてご予約ください。
メールまたはFAX受付後、こちらから予約番号を返信致します。
当日、メールでお申し込みの方は、予約番号入りの返信メールをご呈示ください。
FAXの方は、返信された予約番号入りのFAX予約票をお持ちください。
料金は、1部、2部ともそれぞれ1,000円です。お支払いは当日となります。
お申し込みは、各部200名の定員になりましたら、締め切らせていただきます。

第1部 「チョムスキー9.11」

同時多発テロから1年後に作られたこの映画で、今もつとめられている言葉を、21世紀の知の巨人が誰よりも明解に語る。善悪の二元論に席卷されたと思っていたアメリカの深部で闘う知識人チョムスキーの、素敵な好々爺ぶりが可愛い。そこに渦巻く聴衆の熱い歓迎ぶりに、一抹の希望が輝いて見える。(佐藤 真)

第2部 「カンタ！ティモール」

「ねえ みんな ねえ 大人たち 僕らのあやまちを大地は見ているよ」東ティモールで耳にしたある青年の歌。その歌の意味を探っていくところからこの映画の旅が始まる。自然を敬い、母なる大地を信頼し、平和への揺るぎない信念を持つ、彼らの魂からうたわれる歌がとても力強く美しい。どうかこの希望の映画、ひとりでも多くの人々の心に届きますように。(清水)

MAILの方は

件名 「映画上映会申し込み」

氏名／メールアドレス／参加希望の部 を明記して

メール宛先: abenothankyou@hananotani.jp までお送りください。

FAX予約票 お手数ですが、お一人1枚でお願い致します。

FAX宛先: 0470-44-5302 (この用紙に記入の上、送信ください。)

第1部 予約番号【 】

第2部 予約番号【 】

※ 参加希望の部の□に✓を入れてください。予約番号は記入しないでください。

氏名 _____

FAX番号 _____

主催: アベ NO THANK YOU! の会

(連絡先) 千葉県南房総市千倉町白子2446 医療法人社団 花の谷クリニック内

090-3312-7607

呼びかけ人 伊藤真美